

社会で活躍する人間力の育成

あま市立美和小学校

1 目的

本校の目指す児童像は「力いっぱい考える子」「笑顔いっぱい思いやりのある子」「元氣いっぱいがんばる子」を掲げています。その力を育むため、以下のような手だてとともに、教育活動を進めています。

- (1) 地域の方々の協力を得て、田植え、芋の苗植え、いも掘り体験を通して、食べ物に対する考えや農家の方々に対する感謝の気持ちを育てます。
- (2) 豊かな人間関係を築くために「ハッピートーク事業」を通し、コミュニケーション能力、自己肯定感を高めます。
- (3) GIGAスクール構想の充実に向け、タブレット端末を効果的に活用する児童を育てるために外部講師を招き、出前授業や教職員への研修を行います。
- (4) 将来、健康な体を保つため、外部講師を招き、正しい姿勢を身に付けさせます。
- (5) 特別支援教育への知識を広げ、児童一人一人の個性や特性への適切な対応を行うため、外部講師による研修を行い、教員の力量を向上させます。

2 内容

(1) 『自ら考え、判断できる児童の育成』事業

— 情報教育の効果的な活用を通して —

ア 外部講師によるプログラミング・デジタルシティズンシップ出前授業と職員研修会

3年生においてタブレット端末を使い、プログラミング学習を行いました。さまざまな指令をつくり、画面上のアニメーションを思うように動かす技術を身に付けました。また、4年生においては、デジタルシティズンシップ教育を行い、将来インターネットをどのように活用することで暮らしが豊かになるか、教えていただきました。教職員には、3年生の授業で取り上げたプログラミングソフトを使い、今後授業で実践できるように研修会を開きました。プログラムの内容を複雑化することで、高学年においても活用できる内容となりました。

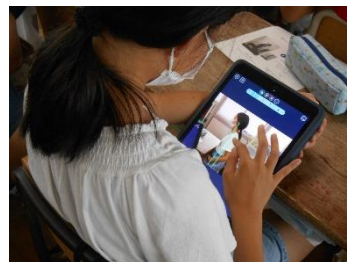
イ 児童一人一人の個性や特性への対応に関する研修

特別支援教育について外部講師を招き、さまざまな個性をもつ子どもたちに対し、教職員としてどう接していくことで支援ができるかを学びました。それぞれの児童の個性を理解し、特性に応じた教育を行うために大切な事柄を多く学ぶことができました。

(2) 『心と体を鍛え、自己実現できる児童の育成』事業

ア 姿勢改善教室

接骨院を開業されている方を外部講師として招き、4～6年生が正しい姿勢作りについて学びました。正しい姿勢を保つことが集中力、筋肉や関節の成長、運動機能に大きく関わることを学びました。授業では、タブレット端末を使い、お互いの姿勢の写真を撮影す



【正しい姿勢を自分で確認】

ることで、視覚的に自分自身の正しい姿勢の作り方を学ぶことができました。

イ ハッピートーク事業を通した、コミュニケーション能力の育成と自己肯定感の育成

5・6年生は、「ハッピートーク朝礼」を行い、スポーツ、政治などのさまざまな方面で活躍する方々の話をオンラインで聞き、ゲストからのクイズに答えたり、児童から質問をしたりする活動を行いました。夢をあきらめないことの大切さや、夢を叶えるために何が大切なのかを考えるよい機会となりました。オンラインでのやりとりを通し、コミュニケーションに大切な挨拶や話し方についても学習することができました。



【聖火ランナーの方との交流】

(3) 低学年「いもの苗植えといも掘り体験」、5年生「稲の苗植え・稲刈り体験」

1・2年生において、JA海部東農業協同組合や地域の農業クラブの方々を招き、春にはさつまいもの苗植えを、秋にはいもほりを行いました。初めていもの苗に触れる児童が多く、畑に作っていただいたうねに、大きく育つことを願いながら地域の方のご指導の下、作業を行いました。また、秋には大きく育ったさつまいもを掘る体験をしました。これまで畑の世話をしてくださった方々に感謝の気持ちを表す姿が見られました。

また、5年生は稲の苗植えと稲刈りを体験しました。田んぼの中での作業や、収穫した後の稲をまとめたり運んだりする作業を通し、食物を収穫することの大変さを学びました。

3 評価

地域の方々の力、専門的な知識をもった外部講師の方々から学ぶことは児童にとって新鮮な機会でした。さまざまな事例を紹介していただきながら体験的に学ぶことにより、知らないことがたくさんあることが実感でき、新たな発見の多い授業実践を行うことができました。今回の実践では「支えてくれる人への感謝の気持ち」「自分自身から人とながら力」「ICT機器を活用した将来へ向けての力」「多様性を認め指導していく必要性」について、児童とともに教職員も学ぶことができました。

4 課題

体験を通した学習を行うことにより、将来の生きる力になっていくことを児童一人一人に実感させる大切さを改めて感じました。今後は、それぞれの体験を各教科や行事などにより系統立てて実践することにより、教育効果を上げることが必要であると考えています。社会に出たとき、6年間の小学校での生活が活かされることを願いながら計画していきたいと考えています。